

福島民友新聞株式会社

SDGsへの取り組み



県民に愛され続けて130年

【事業内容】

福島県の地方紙「福島民友」を発行。国内外の情勢から、ローカルで身近な話題まで、幅広く発信しています。そのほか、文化・スポーツ事業の企画運営や、電子メディアへのニュース配信にも取り組み、日々地域とともに歩んでいます。2025年に創刊130周年を迎えました。

【募集予定職種】

総合職（編集コース、営業コース、新聞システムコース、総務経理コース）

会社概要	本社所在地	〒 960-8648 福島県福島市柳町4-29		
	設立年度	1895年5月20日	従業員数	245 名(男性： 187 名、女性： 58 名)
	資本金	1 億円	電話番号	024-523-1196
	年商	非公開	採用担当者	総務局人事労務部 桑原 桜
	ホームページ	https://www.minyu-net.com/		

この業界の魅力

新聞記者は、名刺一枚で誰とでも会って話を聞くことができます。取材の中での発見が紙面になり、そして読者からの反響が目に見えてわかるという点は、魅力の一つだと考えています。

わが社のセールスポイント

ここが自慢	「読みやすい・面白い・ためになる」紙面のため、連載や調査報道、ビジュアルに優れたレイアウトに力を入れています。	人の魅力	部署内外問わずコミュニケーションの機会が多い職場です。同期はもちろん先輩社員にも相談しやすい環境です。	働く魅力	研修や表彰が充実しており、自分の成長を実感できます。多方面から地元に貢献できるチャンスがある仕事です。
-------	---	------	---	------	---

研修制度

内定者研修、新入社員研修、年次別/役職別研修、テーマ別研修、東日本大震災の伝承研修、福島第一原発の視察、読売新聞社との合同研修など

福利厚生

社会保険完備（雇用、労災、厚生年金、健康）、総合福利厚生サービス「Benefit Station」、読売グループ共済会、貸付制度、退職金制度、確定給付企業年金、人間ドック補助等

人事担当者メッセージ

学生の皆様へ

福島民友新聞社はその名の通り、「県民の友」として地域に根ざし、情報を伝え続けてきました。そして、その仕事は新聞製作にとどまらず、広告、イベント、SNS、デジタルなど非常に幅広く、多岐にわたります。そのため、どんな方でも自分の得意分野や興味を仕事に活かせる可能性があります。新聞社に興味がある方、働くイメージがなかなかつかないという方も、ぜひ一度当社の様子を覗いてみてください！

先輩社員インタビュー



●入社から現在までの仕事内容を教えてください。

記事に見出しを付け、紙面のレイアウトするのが仕事です。研修期間を経て、1年目は各地域の話題を扱う地域版から紙面制作をスタート。慣れてきたら、その日のニュースを扱う本版に移っていきます。要点を的確に伝えられているか、より分かりやすい表現はないか降版まで考えます。また、ニュースの重要度から扱いの大小を決め、原稿や写真が生きるレイアウトを心がけています。

●会社を選んだ理由は？

学生時代に参加した募金活動で東日本大震災の遺児と会ったことで、福島のことをもう少し深く知りたいと思うようになりました。また、募金をしてくれた方が「新聞見たよ」と言ってくれて、新聞が持つ力を感じました。就職活動では新聞社や通信社を複数受験し、同業他社にも内定をいただきましたが、民友の社員や社風が温かいと感じ、入社を決めました。

●仕事のやりがい・魅力は？

紙面全体にミスがないよう、見出しや原稿を何度も読み返し確認しています。そうして自分でレイアウトしたものが、多くの方に読まれる製品になっていることに喜びを感じます。また自分が組んだ紙面と見出しを他紙と見比べることも新しい発見があり楽しいです。

名前： T. Y

入社： 2022年

所属： 編集局編成部